



今井小だより

横浜市立今井小学校

令和3年5月31日

学校だより 6月号

学校教育目標 : か が や い て い る 子 「自分大好き！今井大好き！」

穏やかで優しい人

学校長 森脇 信行

カントウタンポポと外来種の違い



先日、職員と一緒に校内の野草を調べている時、正門の近くで、カントウタンポポを見つけました。カントウタンポポは種が地面に落ちてから、花が咲くまでに2年以上かかります。そのため、都会では1年で花が咲くセイヨウタンポポに生育場所を占領されて、ほとんど見られなくなってしまいました。私もカントウタンポポを見たのは10年

ぶりくらいだったので、嬉しくなって周辺を探し回りましたが、カントウタンポポはその一株だけでした。以前、私は中学校の理科の授業で、学区のタンポポ地図を子どもたちと一緒に作成していました。タンポポの分布図を作る作業を通して、生徒が自然に触れられる機会を増やしたり、カントウタンポポを観察させたりしていたことを思い出しました。「まさか、校内で見つかるなんて・・・」私の感動はご想像いただけると思います。そういえば、今井小学校には、登校中に見つけたダンゴムシや様々な昆虫を持ってきて、昇降口で私に自慢してくる子どもが毎日複数います。そのような姿を見て、今井の自然の豊かさや素朴な子どもたちの姿に愛おしさを感じています。皆様も、たまには、子どもたちと一緒に野草の観察などをしてはいかがでしょうか。『カントウタンポポ探し』は私のおすすめです。

さて、私は先日の朝会で、「自分がやってもらいたいことを友達にする。自分がされたくないことは友達にはしない。」という話をしました。話をした理由の一つは、これからの時代を生き抜いていく中では、一人で「強くなろう」と頑張ることは必要ですが、「優しくあろう」とにっこり微笑む方が、もしかしたらずっと幸せに生きていけるのではないかと思ったからです。今は科学が進歩して、力仕事はロボットに勝てませんし、計算や暗記はコンピューターの方が早く正確です。子どもたちが、大人になる頃には、今ある多くの仕事がAIに取って代わられると言われていています。そんな世の中では、だれにでもできることを皆が思いつかない方法で行うこと、ロボットではやらないような方法で成果を出すことが大切になってきます。その時必要なのが、信頼されていて、「仲間」という大きな力を持っていることだと思います。「真面目であること」「丁寧であること」「謙虚であること」の三つを大切に、信頼されることによって、人と人との繋がりが生まれ、一人では考えられないような大きな力となり成果を得ることができるようになるのではないかと考えます。私は、今井小の子どもたちに、『優しく微笑んで、人に信頼される人間になってもらいたい。』と考えています。皆さん、どう思われますか。